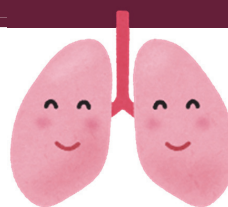


令和7年6月から 総合健康診査と肺がん検診が 同時に受けられます



肺がんは、台東区の死因の第1位です。40歳以上の区民は毎年肺がん検診を受けられます。これを機に、肺がん検診を受診しましょう。

●どこで受けられますか？

同封の令和7年度健(検)診のご案内12ページから15ページに記載の
肺がん検診実施医療機関で受診できます。

●どうすれば受けられますか？

総合健康診査を予約する際に、肺がん検診も一緒に申し込んでください。
チケットは必要ありません。

●どんな検査をしますか？

問診と胸部のエックス線写真です。
また、問診で対象となった方には、喀痰細胞診検査を行います。



●費用はかかりますか？

検診費用はかかりません。

●結果はいつ頃わかりますか？

4週間程度かかりますので、結果は郵送で返却される場合もあります。
精密検査が必要と言われた方は、必ず精密検査(有料)を受けましょう。

台東区 肺がん検診



台東保健所保健サービス課母子成人保健担当
〒110-0015 台東区東上野4-22-8
☎03-3847-9481





肺がん検診の知識



重要!

継続受診が大切

日本人の死因第1位はがんですが、その中で最も多いのが肺がんです。肺がん検診の間隔は年に1回です。症状がなくても、陰性だったとしても継続して受診することが重要です。

ただし、既に症状がある方は、すぐに医療機関を受診しましょう。

重要!

精密検査は必ず受診

精密検査が必要と言われたら、より詳しい検査(CT検査や気管支鏡検査)を行いますので、必ず精密検査を受けましょう。

なお、精密検査の結果は区へ報告されます。(個人情報保護法の例外事項)

検診のメリット(利益)

- 早期発見、早期治療による救命の効果がありません
- 早期発見により、身体に負担の少ない治療ですみます
- がん以外の病気を見つけて、治療に結びつけられます
- 安心して生活続けることができます

検診のデメリット(不利益)

- 必ずがんが見つかるわけではありません(偽陰性)
- がんがなくても「要精密」となる場合もあります(偽陽性)
- 検査によって身体に負担がかかる場合があります



ポイント

肺がんを予防するために

肺がんにかからないようにするために最も重要なことは、たばこを吸わないことです。喫煙者は非喫煙者に比べて肺がんになりやすく、喫煙年数や喫煙本数が増えるほどリスクが高まります。非喫煙者でも、受動喫煙(周囲に流れるたばこの煙を吸うこと)も肺がんになる危険性を高めます。たばこを吸っている人は禁煙し、吸わない人はたばこの煙を避けて生活しましょう。